

## 松尾地区地域審議会会議録

会議の名称	松尾地区地域審議会（平成25年度第1回）		
開催日時	平成25年7月22日（月）	開会	13時30分
		閉会	16時40分
開催場所	松尾IT保健福祉センター 1階多目的室		
議長氏名	奥田 政美		
出席者氏名	別添出欠席者名簿のとおり		
欠席者氏名	〃		
事務局氏名	〃		
会議事項	議題	会議結果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 松尾庁舎跡地における施設計画（案）について</li> <li>(2) 松尾地域におけるこども園について</li> <li>(3) その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 松尾庁舎跡地における施設計画（案）については、市の方針に沿う事で意見をまとめた。</li> <li>(2) 効率的なこども園化の推進について、地域の意見を重視しながら事業実施する旨の周知を行った。</li> <li>(3) JR 松尾駅周辺の整備に関しては、引き続き進捗を報告することとした。</li> </ul>	
会議の経過			
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松尾庁舎跡地における施設計画（案）について</li> <li>・平面図500分の1</li> </ul>		
その他必要事項			
会議録の確定			
確定年月日	署名委員		
平成25年 9月30日	大橋 一雄		
	押尾 虎夫		

## 出 欠 席 者 名 簿

松尾地区地域審議会委員		
職 名	氏 名	出欠
会 長	奥 田 政 美	○
副会長	大 津 秀 夫	○
委 員	小 椰 昌	×
委 員	北 田 明 夫	○
委 員	北 田 正 之	×
委 員	齊 藤 澄 子	○
委 員	地布久 勝 夫	○
委 員	鈴 木 超	×
委 員	土 屋 秀 雄	×
委 員	野 中 学	○
委 員	秋 葉 利 一	○
委 員	大 橋 一 雄	○
委 員	押 尾 虎 夫	○
委 員	周 東 慶 幸	○
委 員	古 川 栄	○

執行部・事務局		
所 属	職 名	氏 名
総務部	部 長	石 橋 昌 美
保健福祉部	部 長	長谷川 晃広
子育て支援課	課 長	田 上 和 弘
企画政策課	課 長	小 川 雅 弘
企画政策課	主 幹	齋 藤 忠 志
企画政策課	副主幹	加 瀬 英 男
企画政策課企画係	主査補	松 崎 康 寛
企画政策課企画係	主任主事	太 田 智 之
企画政策課企画係	主 事	中 野 雄 太

出席職員数      9名

出席   11  名    欠席   4  名

(会議経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
企画政策課長	<p>皆様、本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。本日、会議進行を務めさせていただきます企画政策課長の小川と申します。宜しく願いいたします。開会に先立ちまして、本年度も市長部局において4月1日付けの人事異動がございましたため、あらためて事務局をご紹介させていただきたいと思っております。</p> <p>&lt;各出席職員の自己紹介&gt;</p> <p>それでは、定刻となりましたので、平成25年度第1回松尾地区地域審議会を開会させていただきます。はじめに、本日の会議の出欠席者の報告をいたします。本日の会議ですが、4名の方から、所要のため欠席の連絡をいただいております。現在、定員15名のところ11名のご出席をいただいております。地域審議会の設置に関する協議第8条第4項の規定により、委員の出席が過半数を超えておりますので、本日の会議が成立いたしますことをご報告いたします。</p> <p>また、本日の会議は、議事録作成の都合上、会議内容を録音させていただいております。大変申し訳ありませんが、ご発言の際には、必ず挙手の上、議長の指名を受けたのち、お名前を述べた上でのご発言をよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、会議次第により、会長からごあいさつを頂きます。</p>
会長	<p>一言ご挨拶を申しあげたいと思っております。ただいまから、平成25年度第1回松尾地区地域審議会を始めさせていただきたいと思っております。国政選挙という事で、新聞で大々的に報じられていました。自由民主党の圧勝という事でございましたけれども、国民のため、地域の発展のために良い施策が出来るような政権になってほしい、という期待を新聞を見ながら感じたわけです。さて今日は、先ほど事務局からご説明がございましたけれども、議題については(1)松尾庁舎跡地における施設計画(案)について、(2)松尾地域におけるこども園について、(3)その他ということです。6月23日に松尾地域賑わい空間創出研究会がありまして、市長や幹部の方々、市議会議員の方においでいただきまして、説明を頂きました。そういったことで、本日、地域審議会の皆様にお示しさせていただいているという事でございます。ある程度具体的な方向が定まってきており、皆様がどのような感じを受けるか分かりませんが、本日はこの議題について執行部からご説明を頂き、皆様のご意見を頂きたいと思っております。時間は16時頃までとさせていただきますので、宜しく願いいたします。</p>
企画政策課長 石橋総務部長	<p>続きまして、石橋総務部長よりご挨拶申し上げます。</p> <p>皆様ご苦労様です。先ほどご紹介のあったように、4月からこの重責を担う事となりました。企画政策課では5年間という長い間お世話になっております。その中で、松尾地域賑わい空間創出研究会や地域審議会</p>

	<p>において、相当の時間をかけて松尾地域の賑わいに関して多くの方々のご意見を頂戴してきたわけでございます。本日は、市から具体的に案を示しますので、皆様のご意見を頂きたいと思っております。また市においては平成25年度から後期基本計画がスタートしました。そういった中では、大きな課題と申しますか、合併により財政支援という事で交付税面で非常に優遇されていましたが、後期計画中である平成27年度までがその優遇期間となります。平成28年度からは、この交付税の特例措置が終わりまして、5年間かけて順次減らされていきます。現在18億から20億の交付税を余分といいますか、優遇されています。これから多くの政策課題がありますが、そのような財政面の課題もあることを念頭に、これから市としても計画・まちづくりに励んでいきたいと考えております。</p> <p>そういった中で今までと大きく違う点の一つあります。これは松尾地域賑わい空間創出研究会の中でもお話がありましたが、松尾高校の存続なくして松尾地域のまちづくりは成し遂げられないということ、これを明確に念頭におくという点だと思えます。これはまた事務局から説明があるかと思えます。本日は、地域審議会委員の皆様のご意見を頂戴して、松尾地域の賑わいを成し遂げたいと思えます。宜しく願いいたします。</p> <p>この後の議事につきましては、地域審議会の設置に関する協議第8条第2項の規定により、会長に議長をお願いいたします。</p>
<p>企画政策課長 会長</p>	<p>それでは、会議に入る前に、山武市松尾地区地域審議会運営要綱第2条の規定により、会議録の署名委員2名を指名させていただきます。今回の署名委員は、大橋委員と押尾委員をお願いしたいのですがよろしいでしょうか。</p> <p>&lt;大橋委員、押尾委員了承&gt; ありがとうございます。</p>
<p>松崎主査補</p>	<p>平成25年度第1回松尾地区地域審議会会議録の署名委員は、大橋委員、押尾委員の2名とさせていただきます。事務局より会議録の案が作成されましたら、確認の署名をお願いいたします。</p> <p>それでは早速、議事に入ります。まず、議題(1)松尾庁舎跡地における施設計画(案)について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>企画政策課の松崎でございます。私からご説明させていただきます内容としましては、松尾庁舎跡地における施設計画に関する今までの取り組み・経過・現段階における施設計画案になります。</p> <p>&lt;配布資料を基に施設計画(案)について説明&gt; (1)施設のコンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①<input type="checkbox"/>松尾地域の賑わいの創出や活力の向上</li> <li>②<input type="checkbox"/>松尾地域のコミュニティの再構築</li> <li>③<input type="checkbox"/>松尾高校の魅力の向上</li> </ul>

## (2) 施設概要

スタジオを中心に、学童クラブ・直販スペース・軽食スペース・歴史資料展示コーナー・屋外アーケード等で構成します。

また、既存の「ふれあい館」と一体的に利用し、洗心館のグループ活動も、このスタジオや「ふれあい館」に集約します。

### ①スタジオ

スタジオは、ダンス教室や会議室・学習室等としても活用します。

また、メインとなるスタジオは、ダンスや舞踊発表会などを開催する際のステージ機能も併せ持たせます。

なお、小・中・高校生のダンス教室は、夕方からの使用を主とするため、それ以前の余裕がある時間帯には、会議室や学習室、洗心館のクラブ活動の部屋としても活用します。

### ②学童クラブ

利用者が年々増加傾向にあり、松尾IT保健福祉センターと、松尾小学校を併用し運営している状態で、これを統合するものです。

なお、現在の利用者は、50名程度ですが、制度改正により6年生までが対象になることから、更なる増加が見込まれます。

学童クラブの子供たちは、施設外から学童の教室へ直接出入りができ、学童クラブのエリアだけで活動ができるように独立した施設形態とします。

また、外遊びスペースについても、より安全性を考慮し学童クラブ専用の広場を確保しました。雨天時の遊び場所としては、ふれあい館(多目的ホール)も隣接しており利用可能です。

なお、将来的な状況の変化に対応できるよう児童館としても活用できる設計を検討します。

### ③直売スペース (マーケット：190㎡、57.5坪バックヤード等含む)

地場の食材や製品などを展示販売する場所とします。地域の活力による運営を目指し、地域の特性を生かした製品や食品・農産物の販売を行います。

### ④軽食スペース (128㎡、38.7坪キッチン含む)

各種サークルの打合せや待ち合わせスペースとして使える、くつろぎの場を提供します。

### ⑤歴史資料展示コーナー

松尾藩を中心とした歴史資料を展示します。季節ごとに展示物の入れ替えを行い、あえて部屋の形式をとらず展示コーナーとして整備することで、人の流れを呼び込み、より多くの来館者が地域の歴史に触れる場を設けます。

### ⑥ロビー

各ブースを結ぶロビーや通路にゆったりとスペースをとることで、高

校生が電車の待ち時間に過ごせる場所、地域の歓談の場となることを期待しています。

#### ⑦屋外アーケード

イベント時の販売スペースやフリーマーケット・朝市などの会場として、日よけ雨よけとしての利用を想定しています。

#### (3) 期待される事業効果

##### ①ヒップホップダンス教室等の開講

平成25年から中学校でダンスが必修化され、子供たちにも非常に人気があります。発表会・イベント等では、保護者や家族も同伴し賑わいを見せているところです。また、本市教育委員会においても、児童生徒の体力低下対策として汗をかく体育等の推進に努めています。

ヒップホップダンス教室や練習場所を提供し、学童クラブ利用者にもこの教室への参加ができるようにします。

なお、ダンス教室は、小・中・高校生を中心に大人までの教室も視野に入れ計画します。

城西国際大学メディア学部では、ダンス教室を開講しており、大学との連携の下、施設の規模や機器構成、講師派遣などについて検討します。

また、洗心館の高齢者サークルも使用することから、城西国際大学や成田国際空港株式会社（NAA）などの協力により、幅広い世代を対象とした講座開講等を図ります。

##### ②特色ある学童クラブの運営

学童クラブの新しい試みとして、城西国際大学や成田国際空港株式会社（NAA）などとの連携により、英会話・ダンス教室などの習い事を取り入れた学童クラブが運営できます。

また、洗心館活動をしている高齢者と児童で、多世代交流の場として様々な体験教室等が、開催可能となります。

##### ③松尾高校の魅力の向上

松尾高校の福祉コースの生徒が城西国際大学の福祉学部の学生と連携し、学童クラブでの保育に関する職場体験をはじめ、城西国際大学や成田国際空港株式会社（NAA）の協力により英会話教室や成田空港関係の講演を受講することで生徒の進路決定に寄与できます。

また、部活等の発表の場としてステージや展示スペースを使用するとともに、吹奏楽部などの発表会等においては、洗心館の活動グループと連携し、地域との交流を深めます。

松尾高校の生徒は、礼儀正しく、比較のおとなしい生徒が多いため、ダンス教室や地域活動に参加できる環境を作り、実社会に出たときに積極的に自己表現ができる、活動的な生徒を育成します。

##### ④地域の賑わいづくり

直売所での販売(地域の特性を生かした販売)、軽食スペース(地域の食

会長	材を生かした料理)、各種団体の発表会(ミニイベント)や、高齢者から子供まで幅広い世代の会議や打合せなどに利用できる部屋を確保します。
地布久委員	ありがとうございます。議事に関する発言は、必ず挙手のうえお願いいたします。それでは、早速ご意見のある方は挙手願います。
企画政策課長	豊岡地区の地布久です。図面を見ると、新施設は改善センターの多目的ホールに比べて4倍程の床面積があるが、一梁で建てる、それとも屋根が分かれるのか。
地布久委員	大きな一つの屋根の下に、様々なブースが連帯する形です。面積については、図面の右側に各施設毎の面積を掲載しています。
企画政策課長	多目的ホールと繋がって一梁ということですか。
大橋委員	屋根については、多目的ホールと分離する方向で考えています。
古川委員	豊岡地区の大橋です。前回の松尾地域賑わい空間創出研究会で市長が道の駅のようなものを想定しているようなことをおっしゃっていました。その話と直接は関連しないのですが、やはり朝市に持ち込まれる品物の質を向上したほうが良いと思います。朝市というのは皆さんご存知のように、飛騨の高山、石川県の輪島、勝浦などをはじめ、その日に収穫した一番良い品物を店頭にならべている。今の松尾の朝市と呼ばれる所へ行くと、粗雑な品物を並べていると感じます。しかも8時前に引き上げてしまいます。せめて人の動きが活発になる10時ぐらいまでは、継続することを考えてほしいと思います。そして残りではなく、良い品物を持ち込んでもらいたい。粗雑な品物を並べて30分程の朝市をやっているのはどうなのかなと。この事を市の担当に考えてほしい。開放する朝市の基準について、既に市に考えがあればお聞かせ願いたい。
企画政策課長	営業が成り立てば営業時間も伸びるだろうが、そうでなければ難しいでしょう。
大橋委員	企画政策課長の小川です。朝市関係の基準については、朝市組合がありますので、そちらの中で検討していただく方向で考えております。市としては、広場の外側にアーケードを設けまして、小学校の自転車置き場のように軒を作るので、軽トラなどを乗付けて朝市を行っていただければと思っております。今後は朝市組合を中心に、より広域的に、他の地域の特産物を集めて活気づける、そういった魅力的な朝市を目指したいと考えています。
企画政策課長	松尾出張所の敷地にあるふれあいマーケットは残るのですか。
大橋委員	ふれあいマーケットについては、国道126号の反対側、つまり新しい施設の下側に設置することを検討しています。オライ蓮沼の3分の2程のスペースを用意しますので、販売にあたっていただければと考えております。
企画政策課長	朝市の基準とか、そういったものは今まで任意でやっていたと思うが、納入業者について、市の考えはあるのでしょうか。
大橋委員	基本的には、朝市組合の方で基準を設けているかと思えます。

<p>押尾委員</p>	<p>押尾です。何点か箇条書き的にお伺いします。</p> <p>国道126号から施設に進入するようになっているが、正面入口が国道126号側だとすれば、進入路付近に目立つ看板を設置してもらいたい。</p> <p>銚子方面からは進入しやすいが、東金方面から右折で進入できるのでしょうか。</p> <p>正面入口が国道126号側であると仮定するならば、マーケットを外部にアピールするためには国道126号側に設置したほうが良いと思う。</p> <p>スタジオは汗を流すところなのでシャワールームがあると良いと思う。</p> <p>第1スタジオがステージの用をなすとのことだが、収容人員が少ない気がする。観客はどうするのか。大人数の場合は、多目的ホールの方が観客の収容に適していると感じる。</p> <p>多目的ホールと新施設の間の屋根が繋がっていないと、雨天の時に困るのでは。</p> <p>ダンスなどは最近の傾向だと思うが、伝統芸能、神楽の後継者がいない問題についての考慮はしていただいているのか。</p> <p>洗心館の活動グループ・サークルと城西国際大学がどのような連携を取ることができるのか見えてこない。</p> <p>先ほど部長から説明があったように、国の交付金が徐々に少なくなると。貰えるうちに市の事業をやっしまおうという意識の中でこの様な施設作りをしているのだと思いますが、この施設整備にどれ程の財源を必要とするのか。以上です。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>国道126号側の看板設置については検討しております。銚子方面からの進入は比較的容易と考えていますが、東金方面からの進入については、警察協議の中でも危険ではないかというご指摘を頂いています。そのため、主に南側から進入していただくことを考えています。これについては、東金の田間に建設が予定されている道の駅と同様の進入形態となります。</p> <p>シャワールームについては、前回ご指摘を頂いたので検討しております。第1スタジオについては、多目的ホールのステージと同じ大きさで検討しております。観客席については、憩いの広場が観客席となる設定で考えております。洗心館のサークルには茶道や合唱のクラブがあると聞いています。松尾高校にも同様のクラブがありますので、そこに城西国際大学等も加わって活動していただくことを考えているところです。次に施設の建設費ですが、約6億円程の工事を予定しております。</p>
<p>押尾委員</p>	<p>ありがとうございました。第1スタジオにステージを設置して、演奏会等を行うということですが、観客席である憩いの広場が屋外なので、どうかなと思ったところです。また、正面入口というのが国道126号</p>

企画政策課長	側になると思うのですが、マーケットは正面入口付近に設置した方が良いと思います。それから、伝統的な芸能等の部分はあまり盛り込まれていないように思うのですが、どうなのでしょう。
古川委員	伝統芸能の神楽等につきましても、スタジオを使って練習等できると考えています。
企画政策課長	先ほど押尾委員の話がありましたが、それを聞いていて、国道126号側を出入り口にする云々の話で誤解されてる方が多いのではないかと思います。私は国道126号側を主な出入口とするのは無理だと思うのですが、その辺を誤解してる感が。
秋葉委員	ご指摘の通り、交差点からの距離があまりにも短いため危険であるという指摘を頂いております。ですので、進入路として開けてはおりますが、実際に正面として使っていただくのは南側であると考えています。
	何点か箇条書き的に伺います。 施設全体の供用時間と休日等の設定について、具体的な考えがあればお聞かせ願いたいと思います。スタジオやマーケットの関係で夜遅くまでの利用を希望される方もでてくると想定されますので。
	前回の松尾地域賑わい空間創出研究会でもお伺いしましたが、事務所の隣にトイレが配置されていますが、トイレ利用の利便性を考慮した場合に、施設の端であるこの位置がベストなのかどうか疑問に思うので、再度お尋ねします。また、トイレの24時間供用についてもお伺いします。
	この施設全体を災害時の避難所に指定することが想定されているならばトイレの使用容量というのですか、その大きさについてあらかじめ設定することを考えた方がいいのではないかと思います。
	多目的ホールとの接続については、やはり屋根を設置していただいた方が良いと思います。
	前回の松尾地域賑わい空間創出研究会の際に、小川課長から、隣接の地元住民を対象に説明会を行うと伺った記憶があります。それはいつどのような形で行うのでしょうか。
	現在のふれあいストアの裏に、隣地境界としてフェンスが設置してありますが、そのフェンスについては現状のまま残すのか、撤去するのか。仮に新設する場合、現状のフェンスと同様に、住民の方の出入り口を設置していただけるのか。現時点で返答が可能であればお願いいたします。
企画政策課長	供用時間ですが、松尾高校の生徒が帰宅する20時30分頃までは開けてもらえないかという話を松尾高校から頂いており、現在検討中であります。トイレの位置に関しては松尾地域賑わい空間創出研究会でお話しましたが、事務室とセットで中央に寄せるなどの検討も可能ですが、事務室から施設全体に目が届くという保安上の考えもございますので、その点も配慮したいと。トイレの24時間供用ですが、施設整備の考え

秋葉委員	<p>方が道の駅の方向とは異なってきましたので、今のところ予定しておりません。トイレの容量に関しては、今後防災担当課と協議してまいります。住民説明会については、11月以降に解体工事が始まりますので、9月頃には開けたらと。境界フェンスですが、市としては民家と施設の間に何らかの目隠しが必要だろうと考えております。植栽等を利用して配慮したいと思います。多目的ホールとの接続部分の屋根ですが、設計会社と協議してまいります。</p> <p>施設の開館日に関しては、365日開館するのか、それとも土日を開館日として平日に休館日を設けるのか、その辺りはどのようにお考えでしょうか。また、植栽によって目隠しするということだが、フェンス自体は残すのか、それとも植栽にかえてフェンスを撤去するのでしょうか。もしフェンスを新たに設置するのであれば、出入りを確保していただきたいという事です。</p>
企画政策課長	<p>フェンスについては今後具体的に検討してまいります。開館日の関係ですが、基本的には洗心館と同様の形態になると考えています。ただ、マーケット及び学童保育施設のように、施設の機能によってそれぞれの開館日が異なる場合があります。</p>
秋葉委員	<p>学童保育ですが、学童保育自体は土日でも夏休み中でも、特に休日の場合は朝から夕方まで開くところが多いと思うのですが、山武市の場合にはそうではないと考えてよいでしょうか。</p>
田上課長	<p>現在、市内の学童クラブは日曜日を休所日としています。夏休みも同様で、平日については9時から17時で開所しております。現在のところ変更の予定はありません。</p>
大橋委員	<p>障がい者、福祉の立場から申し上げます。障がい者の駐車スペースが3台分では不足するのではありませんか。バリアフリーについては当然考慮されていることと思います。</p> <p>また、駐輪場の位置について、図面上の位置だとあまり機能しないと思います。何故かという、マーケットが駐輪場の反対側にあり、そのマーケットの利用者は、もちろん車の方も多ですが、自転車の方も多いですよね。例えば学童広場を多少狭くするとか、植栽を工夫するなりして、南側にも駐輪場を設置してみてもいいでしょうか。今の位置だと、わざわざ国道側まで止めに行かなければならない。</p>
企画政策課長	<p>それから、大型のバスはロータリーまでしか進入できないのですか。</p> <p>バスロータリーにつきましては、中庭の方に持っていく方向で検討しています。従いまして、図面上のバスロータリーの部分に余分なスペースができますので、そこに駐輪スペースを置くことも検討しております。</p>
大橋委員	<p>施設の中央付近にマーケットを配置するのはどうかと、今思いついたのですが。</p>
企画政策課長	<p>マーケットについては軽食スペースとの兼ね合いもあるので、いずれ</p>

<p>会長 野中委員</p>	<p>にしても南側の出入り口付近の、道路から見える場所に配置したいと考えています。 野中さんどうぞ。 野中です。国道から出張所敷地に繋がる細い歩行道、赤道があって、今でも出入りに使っている人がいます。実施設計の段階において、ここに入り口を作っていただけるよう、注意願います。また、道路の拡張についても、どの様に考えているかお伺いします。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>それから銀行のATMに関してですが、現出張所のATMはかなりの方々が利用していますよね。故に、新施設についてもどこかしらにATMの設置をお願いしたいと思います。 国道126号からの歩行道については必ず検討します。交差点からの道路の拡幅については、担当課へ確認します。ATMについては、仮設についてもそれなりの金額がかかりますので難しいと。松尾IT保健福祉センターへの設置をお願いしましたが、夜間の防犯上の問題もあり、難しいという話です。現在、銀行の方に設置場所について検討していただいている段階です。</p>
<p>会長 北田(明)委員</p>	<p>はい、北田委員どうぞ。 防災関連で発言いたします。震災の時に、断水で蓮沼のスポーツプラザ等はトイレ事情に苦勞したと聞きます。また、憩いの広場ですが、裏返すと炊き込みに使用でき災害時に役立つベンチがあるそうです。この図面を見た限りでは、防災に関して全く見えてこないの、防災機能を盛り込んだ方がいいと思います。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>防災については市としても特に力を入れておりますので、防災担当課と協議して検討いたします。断水時のトイレの問題については、小学校に10トンクラスの受水槽がありますので、そこから直接水を取り出せる仕組みを取り入れています。</p>
<p>大橋委員</p>	<p>現出張所敷地に松の木とか石碑がありますよね。あれはどうするのですか。</p>
<p>企画政策課長 会長 齊藤委員</p>	<p>松の木については、出来ればそのままの位置で残したいと思います。 齊藤さん、何かご意見ありませんか。 齊藤です。資料を見ておると、学童保育が前面にあるのではないかと感じており、必要性があつてこの様になったと思いますので、北田委員がおっしゃった防災という観点を念頭において施設整備を考えていただきたいと思っております。それ以外については、皆さんが考えてこうなってきたのであれば、特別意見はありません。トイレも本来24時間供用が理想ですが、オライ蓮沼の人に聞くと、必要な経費が年間1,000万ということです。そこまでの経費をかけることはできないでしょうから、防災と警備に力を入れていただきたいと思っております。</p>
<p>会長 周藤委員</p>	<p>周藤さん、何かありますか。 人の流れや車の流れはどの様に考えているのか。学童広場なんかはど</p>

加瀬副主幹 会長	こから入るのか。人の動きが非常に、なにかこうピンとこないところがあります。
秋葉委員	学童広場は、学童専用の運動広場として、フェンスで囲う予定です。 ただいま事務局から説明があり、総括的に施設そのものの説明が終わりましたけども、その他ご意見ございますか。
企画政策課長	ソフト面のことでお尋ねというか希望を申し上げたいのですが、資料に書いてくださっている、城西国際大学の学生、松尾高校の生徒、松尾中学校の生徒が一緒になって活用してもらえるように工夫するという考え方は素晴らしいと思います。是非そのように、仕掛けというか段取りをつけていただきたい。また、小学校の生徒も一緒に活動できる部分については行っていったらというようなことが書いてありますが、学童の子どもと中学校・高校生が交わる事に良い効果・影響があると、そこについての市の基本的な考えがあるのであれば、是非そうしていただきたいと思います。
田上課長	ダンス教室等においては、年齢に幅を持たせて行っていきたいと考えています。小学生については、義務教育において英語の導入が始まっており、城西国際大学に子ども向けの英語講座もありますので、そういうものを活用出来ればと考えています。今後課題も出てくると思いますので、一つ一つチャレンジして乗り越えていくことが大切だと考えています。
会長	特色ある学童クラブということで、指導員を交えて話をしていますが、課題はあります。ただ、高校生などのお兄さん・お姉さんと関わることも大事であると考えておりますので、良い仕組みを考えていきたいと思っています。
企画政策課長 会長	一応、各委員さんの意見を頂いたわけですが、施設そのものについて、市としてはこの様な形で基本設計を進めるということによろしいですか。 これを基本に、9月以降、詳細設計へ進みたいと思います。
	私の方からお願いですが、この松尾庁舎跡地の利用については2年間ご議論を頂いてきたわけですが、しかし現状の案を見ると、この様な方法しかないのかなと、寂しいような感じもします。賑わいを創出する地域づくりという大きな目標でやってきたわけですが、この配置を見ると、第1スタジオから第4スタジオそして学童保育施設と、これが松尾の考えてきた賑わいの創出なのかと。私の意見ですよ。当初、賑わいを創出するというテーマがあったわけですが、それとはかけ離れてきたのかなと。マーケットをなんとなくくっつけたような気がします。屋根付き広場についても朝市やフリーマーケットが開催されるのかもしれない。やってみなければわかりませんが、どうかなという感じがしています。それから資料の展示という意見も2年間ずっとあったわけですが、展示コーナーを取って付けような印象を受けます。この第1から

	<p>第4までのスタジオと学童保育施設がほとんどのスペースを占めていますから。また、朝市とマーケットに関しては商工関係の話からも、もう少し重要な位置を占めるのかなと思っていましたが、こじんまりしているなど。いずれにしても、検討を重ねてきて、このレイアウトになったのかもしれませんが。それから松尾高校の魅力向上、松尾地区から松尾高校がなくなったらどうするのかという話を気にしていましたが、城西国際大学からの援助というか、そういうものを取り込んでいくことを積極的に考えていかないといけないという感じがしています。いずれにしても、資料に施設のコンセプトとして①から③まで書いてありますが、設計においては、これらが少しでも向上できるように、前に進んでいただきたいと思います。</p> <p>それでは議題（1）についてはよろしいでしょうか。</p> <p>はい、大橋さん。</p>
大橋委員	<p>アララギ館が今稼働していますよね。そういったところを見学して参考にして良いところを取り入れるのもどうでしょうか。今となってはですが。</p>
野中委員	<p>近隣にある多古町の道の駅、オライ蓮沼等、かなり賑わいを見せています。ただそういうところの店は、その日のうちに売れないものは引き取るといったように、かなり厳しいです。東金、大網、九十九里も来年4月から取り掛かろうとしてますが、一番は若い人たちを呼び込むことです。これについてはかなり厳しいなと思います。学童の子どもと保護者、高校生を巻き込んで、憩いの広場で色々なことができるとは思いますが。ただ現状だと、スタートは厳しいなと思っています。</p>
会長 副会長	<p>はい、大津委員どうぞ。</p> <p>副会長の大津です。思いつきの提案をします。松尾では太田藩が城を持ちつつあった。是非、この施設を舞台として、大々的なイベントして太田道灌の城祭りを企画していただきたいと思います。年に1回必ず開催することとして、この施設をアピールすると。そういうイベントを企画して、人を集める作戦を展開しないと、施設の利用が伸びていかないのではないかと思います。</p>
地布久委員	<p>この場所を使って地元のイベントを定例化すれば、なお有効利用できるのではないかという話でしたが、実は私、道灌様の祭りを主催したことがあります。実際問題、現状は大津委員のご期待にはなかなか沿えないと思いますが、神楽を特別に催すという事は、一つ選択肢としてあると思います。地元の間人としては、そういう際に手を挙げて頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。</p>
会長 押尾委員	<p>はい、押尾さんどうぞ。</p> <p>この前、運動するため元気館に行ったのですが、料金が高いのと、行くまでが大変だと感じました。なのでアスレチック的な施設があったら良いと思ったのと、今イベントの話がありましたが、現在、のぎくプラ</p>

<p>会長</p>	<p>ザやアララギ館で行っている事業をこちらでも開催すれば、外部の人が来なくても、市内での交流が生まれて、いづらか賑わいが生まれるのではないかと思っています。</p> <p>大津委員の祭りの話、それからどこかの道の駅などを視察するという意見もありましたので、それはそれなりにまた検討させていただきたいという事だと思えます。それでは、議題（１）についてはこれで終わりたいと思えます。</p> <p>次に、松尾地区におけるこども園についてご提案を頂いておりますので、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
<p>保健福祉部長</p>	<p>保健福祉部長の長谷川です。いつもお世話になっております。</p> <p>松尾地区におけるこども園についてご説明させていただきます。</p> <p>合併後８年目を迎え、市内の公立幼稚園及び公立保育所については、幼保一元化を図るという方向性が、議会でも確認されており、順次こども園化を図っているところであります。</p> <p>松尾地域の豊岡保育所については現在休園状態であります。休園にあたっては審議会においてもご意見を伺ったところですが、本日は改めて、こども園の再編という考え方で、皆様のご意見をお伺いしたいと思います。</p> <p>議会においては、特に松尾のこども園の老朽化が進んでいると、園児の充足率が高く施設面積が足りないということで、まつおこども園を建替えてもらいたいという内容の一般質問が行われているところです。</p> <p>現在、市ではこども園の再編に向けて考え方の整理を始めたところであり、こども園の適正規模は定員３５０人以下であると判断されるところです。その中で、効率的な再編を考えております。</p> <p>豊岡地域を含む松尾地域の統括した１つのこども園という考え方があると思いますが、これが適当かどうかということ。</p> <p>また、おおひらこども園には現在１００名弱の園児がいますが、東日本大震災を契機に、蓮沼保育園の園児が非常に危ない状況にあるということで、園の運営主体と話し合いましたところ、とりあえず退避・避難できる場所を確保していただきたいということで、蓮沼保育園から直接蓮沼中学校の屋上へ向かうルートを確保しましたが、それが果たして確実に安全かどうかは判断が難しいところであります。同時に出た構想として、いづれ高台に保育園を移転できたら、という運営主体からのお話がありました。子ども・子育て関連３法では、待機児童がいない状態にするという国の考え方もあり、公私連携を図った効率的な施設整備が打ち出されています。蓮沼保育園の園児は現在８６名であり、少子化の影響が色濃く見てとれます。今後、経営統合ができれば良いという考え方の中で、山武市全体で考える中で、再編に取り組みたいと考えております。</p> <p>山武地区については、現在２ヶ所の公立幼稚園と２ヶ所の民間保育園</p>

	<p>があり、これらをこども園化して欲しいという要望が議会に出ております。つまり、山武地域においても適正規模の中でこども園化の検討が必要な状況にあります。</p> <p>この課題は行政が一方的に机上で考えるのではなく、地域の意見を聞いたうえで施設整備等を行いたいと考えております。6月21日の定例議会最終日に松尾地域の議員にお集まりいただき、どのような考え方で取り組むのが良いか意見を求めました。その場で意見は出ませんでした。改めて地域審議会の皆様にも、同じこととお話しして、今後どう取り組むべきか、ご意見を賜りたいと思う次第でございます。</p> <p>行政としては、例えばまつおと豊岡を統合すべきなのか、それとも豊岡保育所を再開すべきなのか、まつおこども園の建て替えとなれば、その建設位置についても皆様に検討していただき、条件的なことは市が提示しますので、その結論をだして頂ければ、短い期間で達成可能だろうと思われま。行政のみで進めると様々な問題が起こります。地域のことを皆様に決めていただき、行政が最終段階として施設整備を行うことが出来れば良いと考えております。</p>
会長	<p>ただいま保健福祉部長の説明を受けたわけですがけれども、この話はどこで結論を出して進めればいいのでしょうか。</p>
保健福祉部長	<p>例えば、準備委員会を松尾地域で立ち上げることも一つの方法です。ただ、その委員はどのような人が良いのかということもあります。</p>
大橋委員	<p>こども園を統合するとして、その適正規模は何人なのでしょう。</p>
保健福祉部長	<p>小学校でも再編について話がでていますが、松尾地域の委員だけでは前に進まない気がします。バラバラな取組ではなく、市として方向性を整理して、大きな流れとして統廃合を進めなければ。</p>
保健福祉部長	<p>規模については、上限が350人です。それは、園の統括面を考慮すれば350人が限界とのことです。しらはたこども園整備の際に、議会から上げられた要望は350人を超える規模でしたが、海岸地域の4園を統合することが大前提でしたので、そちらを最優先しました。また、再編にあたり先進地の情報を調べてみると、やはり規模が大きいと運営上問題が起こることがわかります。習志野市では350人規模のこども園を整備した結果、運営・管理上の問題が起こったと聞いています。</p> <p>そこで、上限を350人として考えれば、1小学校区単位の範囲が適当だろうと思われま。ただし、松尾地域には、休園となった豊岡保育所の園児がまつおこども園を利用している特殊事情があります。そこで、豊岡地域を含めた松尾地域として今後こども園化を図るという方法も案としてあります。それが適当かどうかは、皆様に判断をお願いしたいと考えま。</p>
	<p>昭和の合併前の地域性の違いというものは、しらはたこども園の整備時に問題となりました。2つの小学校区それぞれでの統合は大賛成されたが、4園の統合では話が進まなかった。考え方が全く違い、消防にし</p>

	<p>でも一つにまとまらない。地域性が色濃く見て取れる地域でした。しかし、東日本大震災を契機に、子どもの安全を守るためなら一つに統合して結構という区長の了承を得て、事業が始まった経緯があります。やはり昭和の合併前の地域性により、松尾や大平、蓮沼地域についても皆様の共通理解を得たうえで再編を進めなければ上手くいかないのではないかと。</p> <p>成東地域は8カ所あった幼保施設を3カ所に再編しました。今後は、松尾、豊岡、山武、蓮沼地域について、有利な財源である合併特例債の残された活用期間内に、皆様が理解・満足できるこども園の再編を考える必要があります。行政が示すのはあくまで案であり、松尾地域の皆様がどう考えて検討していただけるのか、ということについて意見を頂きたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>なかなか難しい問題で、例えば松尾地域でこども園の再編についてどう考えるかについては、部長がおっしゃったように、父兄なのか、それとも松尾地域全体の問題なのか、この課題についてどこで審議・検討すべきなのかがわかりませんね。市としてこのような課題があることははわかったが、市がどの様な方向付けをしたいのかが見えてこないです。</p>
<p>保健福祉部長</p>	<p>今日は、再編の準備が進んでおり、地域の意見をどう取り入れるかの段階にあるため、松尾地域を代表する地域審議会の皆様に、我々の取り組む方向性についてご意見を頂ければと思っています。結論は地域審議会ですすのではありません。</p>
<p>会長 地布久委員</p>	<p>何かご意見・ご質問のある方はいらっしゃいますか。</p>
<p>地布久委員</p>	<p>地元の人に聞けば、豊岡地域に整備を希望するでしょう。問題は松尾地域より豊岡地域にあるのだと思うが、広い視野で考えれば、松尾地域に統合されても仕方がないのではないかと私は思います。小学校の生徒数が50人を切りそうな地域に施設を整備することは難しいでしょう。</p>
<p>会長</p>	<p>ここで皆の意見をといわれても、なかなか決まらないので、ある程度方向を示した方が早いのではないかと思う。</p> <p>齊藤委員どうぞ。</p>
<p>齊藤委員</p>	<p>以前、豊岡保育所が休園となり、園児がまつおこども園に吸収される時のことを思い出しました。だが統合は時代の流れとして仕方がないことだと思います。地布久委員がおっしゃったように、これは住民の心情的な問題だと思う。統合した園を整備するのではあれば、住民の心情を緩和できる建設場所を考慮していただければ、豊岡地域の住民も納得するのではないかと思います。</p>
<p>保健福祉部長</p>	<p>将来人口から200名程度の施設規模を考えた場合、面積としては1万平米未満が目安となりますが、豊岡地域で用地を探してみても、整備に時間を要する農地以外で適切な場所が無いのが現状です。皆様に納得していただける場所が妥協点になると思われます。</p> <p>また、今年度からまつおこども園以外のこども園で、こども園の幼稚</p>

	<p>園部分である短児部で3歳児保育を実施したところ、申し込みが非常に多い結果となりました。そのような状況の中で、現在のまつおこども園には短児部の3歳児を収容する面積がないことから、建て替えの要望が上がっているという背景もございます。しらはたこども園は東日本大震災という特殊事情により、建設用地の選定も含めて1年半で整備しましたが、同じような手法はなかなか取ることが出来ないと考えています。建設用地については、地域の問題点等も含めて皆様に合意していただけることを前提として、整備を執行したいと考えております。</p> <p>現在設置されている幼稚園・保育所のあり方検討委員会は合併時から機能しており、まつおこども園、なんごうこども園、おおひらこども園、なるとうこども園、しらはたこども園と、それぞれ全て審議され、答申していただいております。子ども・子育て関連3法においては子ども会議の設置が謳われているため、次の9月に国の法律に基づいて条例化を図りたいと考えています。その中で意見を頂いて、それぞれの地域の準備委員会等で整備を検討する方法が一番スムーズであると考えております。その際、委員の構成についても地域で案を作っていただいた方がよりスムーズに進行すると思われまますので、行政がそのたたき台を示すという事で、進めさせていただいてよろしいでしょうか。</p>
<p>会長 押尾委員</p>	<p>押尾委員何かございますか。</p> <p>少子高齢化の中で、少子がどの様な分布をしているのか、それによって位置が決まってくるのではないかと思います。また、災害のことを考慮すれば、園舎は高台にあった方が良いのではないかと。それから先ほど地布久委員からお話がありましたが、地域の心情を踏まえれば、豊岡小学校を利用するという手もあるのではないかと思います。</p>
<p>大橋委員</p>	<p>大橋ですが最後に一言。こども園の課題にしても、やはり、はにわ道に沿って蓮沼までを一つの地域としてとらえて、出来れば蓮沼地区の地域審議会と交流をもって議論したいと思えます。</p>
<p>保健福祉部長</p>	<p>東日本大震災を契機として、各地区の考え方が震災前と比べて柔軟になっておりますので、それぞれの地域に納得していただくということについても、今後努力していく次第でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>これは非常に難しい問題で、小学校の問題にも波及してくると。ただ、子ども・子育て関連3法という法律が制定され、市が効率的な施設整備を検討しているということについて、皆様ご理解いただければと思います。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>その他何かございますか。</p> <p>J R松尾駅の今後の整備についてご報告させていただきます。現在の北口広場は、面積が約8千平米と狭く、奥行きも浅いため大型車が転回できない状態です。そのため、北口広場を拡張して駅の機能強化を図りたいと考えております。また、駅の南側については、広場用地が確保されており、空港シャトルバスのバス停が設置されておりますが、駅から</p>

	<p>のアクセスについては、遠回りして踏切を渡る必要があります。そのため、北口広場の拡張及び南側の整備と併せて、南北に自由通路を設置し、駅周辺を一体的に結ぶ計画を検討しているところです。</p> <p>実際の事務としましては、昨年度に準備業務として基礎調査業務を実施しました。その報告書をもとに、今年度、駅舎自由通路、駅前広場について、J R 東日本と協議を行う予定です。この事業計画やスケジュール等の詳細につきましては、今後の J R 東日本との協議を踏まえて順次報告していきたいと思っております。以上です。</p>
会長	<p>J R 松尾駅の問題は、以前からその都度ご説明を頂いていたのですが、その後どうなったか、私どもも把握していないので、また何かの機会にご説明を頂けたらと思います。はい、秋葉さんどうぞ。</p>
秋葉委員	<p>自由通路とおっしゃいましたが、以前から話があるミニ橋上化と解釈してよろしいでしょうか。</p>
企画政策課長	<p>駅の橋上化と併せて、自由通路の設置により南北を結ぶ計画で協議を予定しています。</p>
秋葉委員	<p>というと、北口広場の拡張、現在ある駅舎を解体しスペースを確保して、大型車が転回できるようにする、というお話でしょうか。</p>
企画政策課長	<p>その通りです。</p>
会長	<p>はい、押尾委員どうぞ。</p>
押尾委員	<p>東金駅にも、やはり線路を跨ぐ橋、自由通路が架かっております。その橋を障がい者の方が渡るときに、手すりにつかまりながら反対側の改札まで移動している姿を見て、非常に大変なことだと思いました。エレベーターはホーム上にしかない。J R 松尾駅の整備については、今の時点では具体的なイメージが掴めませんが、バリアフリー化を考慮していただきたいと思えます。</p>
会長	<p>駅の橋上化の問題については、今までに2回程説明を受けていますが、現在も計画が進んでいるようですので、また機会を設けてご説明をお願いいたします。</p>
	<p>松尾庁舎跡地における施設計画（案）につきましても、今後レイアウト等の変更がございましたら、その都度ご説明願います。</p>
	<p>それからもう一点、松尾出張所の機能が8月2日に松尾 I T 保健福祉センターへ移転すると聞いていますが、余分なスペースをどうするのか。そのスペースにどのようなクラブが入って、どのような利用をするのかについて、また今度お伺いしたいと思えますので宜しく願います。</p>
	<p>長時間にわたりご審議いただきましたが、大変貴重な施設ですので、賑わいが実現されることを願っております。本日の松尾地区地域審議会につきましては、これにて終了とさせていただきます。</p>
	<p>終わり</p>

